

Blackboard@Tamagawa 活用事例

01

工学部メディアネットワーク学科助教授： 水野 真 先生

専門科目「プログラミングV」での活用

メディアネットワーク学科では、コンピュータでどのようにして問題が解決されるのかという問題意識を認識した上で、プログラミングを実践的に学習しています。学生は、MyPCを授業に持参しBlackboard@Tamagawaに掲載した講義資料を見ながら、実習を進めます。Blackboard@TamagawaのHTMLエディタ機能では足りない部分を、パッケージファイルの解除を活用することで、充実した講義資料を掲載する方法をご紹介します。また、水野先生は、画像認識によるロボット自律動作や教育用ロボットの研究グループでも情報共有等幅広くBlackboard@Tamagawaをご活用いただいております。



科目の実施規模とBlackboardの活用

◆ 科目名：プログラミングV

工学部メディアネットワーク学科
専攻科目群選択科目

◆ 授業の概要：メディアネットワーク学科科目で、一年次から行っているプログラミングI（導入必須科目）からプログラミングIV（発展必修科目）の基礎を受けての応用プログラミングである。内容は、プログラミング演習（JavaによるwebサーバーおよびiButtonでのコントロールを行うことによる組み込み型コンピュータの利用方法など）を学ぶことである。

今まで教わってきた他の講義からの基礎を応用して、IPv6のプロトコルを用いてのプログラミングでもある。

◆ Blackboardの活用：講義で用いる説明及び設問を全部まとめて掲載し、さらに講義中に起こったソフト的・ハード的なトラブルとその解決法も掲載している。また、自習に必要と思

われる資料も掲載している。一括連絡用にアナウンスも利用している。この講義では用いていないが、他の講義ではテストマネージャ、デジタルドロップボックスなども利用している。

パッケージ機能の活用

Blackboard@Tamagawa導入以前から講義に用いるテキストはHTMLにて書き、ネットワークを用いて講義を行っていた。Blackboard@TamagawaでもHTMLによるコンテンツ作成は出来るのだが、Javaアプレットを利用するような高度なことが直接的にはできない。始めは自分のサーバーへのリンクを作るだけという利用形態であったが、項目を作るときのコンテンツの部分で追加アクションとして「ファイルをパッケージ解除する」を選んで、自分で作ったHTMLの講義コンテンツをフォルダごと圧縮

(zip形式)し、添付することによりJavaアプレットも利用可能であることが分かり、この方法で利用している(図参照)。



パッケージ機能の活用

文字コード変換ソフト自作

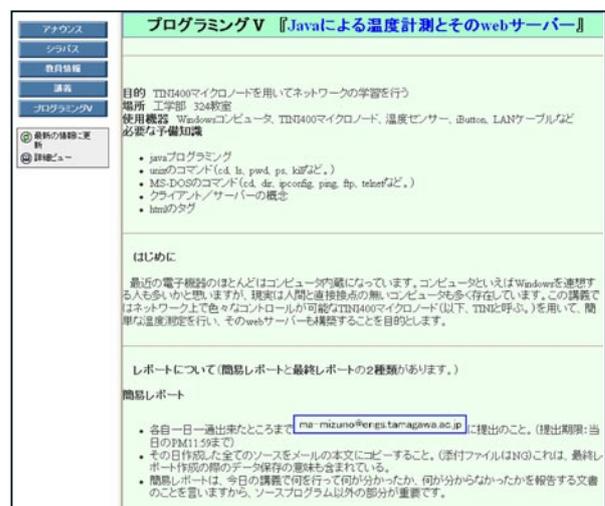
パッケージ解除機能での資料掲載は、Blackboard@TamagawaのHTMLエディタでは表現力不足で、他のツールを使えばもっと自分の書きたいことを主張できると思っている方には、おすすめの方法だと思う。

また、特にこの方法は自分のところで全て作ってからアップロードするので作り忘れが少なくチェックがしやすいと思う。ただ、今回のバージョンアップで表示の文字コードがUTF-8*になったので以前作っておいたS-JISのページをアップロードしたところ全てが文字化けしたのでびっくりした。世の中には文字コード変換ソフトは色々あるようだが、HTMLのタグの中まで直してくれるのが見つ

からなかったの、探すのが面倒なので機能が単純なHTML文字コード変換ソフトまで作ってしまった。

Blackboard@Tamagawaは教育手段の一つ

対象の学生はノートパソコンを必携化した最初の学生たちである。彼らにとってパソコンは日常化しておりBlackboard@Tamagawaはその一部かもしれないが、Blackboard@Tamagawaは教育の手段の一つであることを忘れてはいけないだろう。



プログラミングV

* Blackboard@Tamagawaは、多言語対応のため、文字コードとしてUTF-8を使用しております。

02

遠隔地からのリアルタイム講義が可能に！

今年度より、Breezeを導入しました。Breezeを利用することで双方向でのコミュニケーションが可能となります。Webカメラ、ヘッドセットを用いてのテレビ電話機能だけでなく、PC画面の共有、PowerPoint資料や、写真などを提示することが可能です。

現在、海外出張時などの授業補完、遠隔地とのコミュニケーション、コラボレーションセッションなどに、ご活用いただいております。ご利用希望の方は、メディア教育推進室までご一報ください。



Breeze Meetingの様子

MyPC ネットワーク

03

MyPC ネットワークとは

MyPC ネットワークとは、講義室やラウンジ、食堂等、不特定多数の人達が入り出ることができる場所にある情報コンセントや無線 LAN よりネットワークが利用できる接続サービスのことを言います。

研究室の情報コンセントへの接続には PC の登録が必要ですが、MyPC ネットワークの利用には PC の事前登録は不要です。

しかしながら、接続時に教職員用メールアドレスで使用しているユーザー名とパスワードによるユーザー認証が必要になります。利用できる場所は下記の図の通りです。

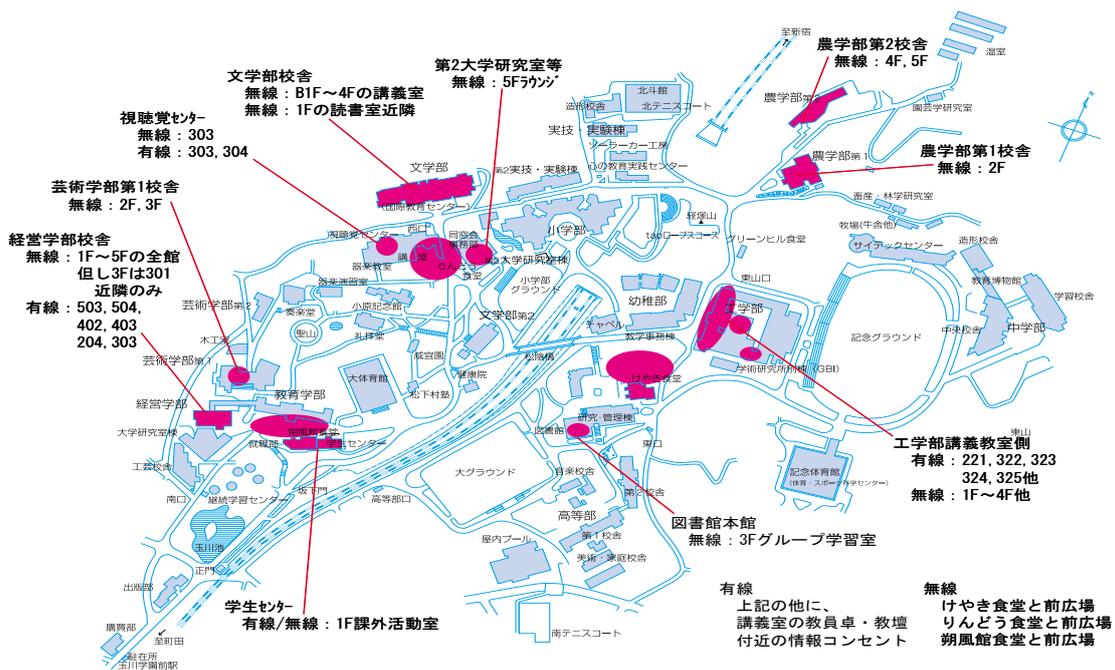
MyPC ネットワーク利用にあたって

MyPC ネットワークに接続すれば、自分のノート PC を利用して学内の各種 IT 環境やインターネットを利用することができます。MyPC ネットワークは主要校舎の講義室やラウンジ、または学内食堂等に情報コンセント

(有線 LAN) や無線 LAN アクセスポイントとして用意されています。MyPC ネットワークでは玉川大学の教職員、学生かどうかの認証判断をします。この認証を行わないと MyPC ネットワークを経由して学内の各種 IT 環境やインターネットを利用することができません。

- ファイル交換やオンラインゲームの通信は禁止します。
- ウィルスやワーム拡散予防のため My PC 同士での直接通信はできません。
- 接続のたびにユーザ認証が必要になります。接続履歴は記録として残ります。
- 通信の盗聴・傍受は禁止します。発覚した場合、学則に沿った処分の対象になります。
- ウィルスやワーム感染した PC を接続した場合、その PC における通信規制を行います。

ネットワークの接続は、設定などが難しいものです。質問があるときは、IT サポートデスクへお問い合わせください。



MyPC アクセスポイント

Blackboard Tips【レポート回収機能】

レポート回収機能

Blackboard@Tamagawa には、様々な課題回収方法があります。それぞれに特徴を生かして、目的に応じてご活用ください。

◆課題管理機能【2006年度からの新機能】

表示期間の設定による提出期限管理、成績管理などができます。さらに、課題の一括ダウンロードが可能のため、多人数の授業でのレポート回収に向いています。提出回数は1回のみです。

◆デジタルドロップボックス

教員へのファイル送信機能です。私書箱に送るように、レポート提出、回収が何度でもできます。一括ダウンロードを行うことができませんので、少人数での課題提出でのご利用をお勧めします。

◆ディスカッションボード

提出レポートを授業参加者全員に閲覧することができます。お互いの提出レポートを参考にさせたい時や、レポートの内容について議論させたい場合に向いています。

課題管理機能の使い方

教員用の編集画面から課題を掲載します。学生は、課題機能を利用してレポートなどを送信します。ファイルの提出だけでなく、コメントのみ（3500文字未満）での提出を行うことも可能です。提出期限の設定もできます。学生が課題を送信すると、成績表に「！（提出済みのマーク）」が記録されます。「！」をクリックし、提出されたレポートの確認、成績を記入、コメントをフィードバックすることができます。

教員が、課題回収を行うときは、成績表より一括にてダウンロードが可能です。ZIP形式で圧縮されたファイルとしてダウンロードされ、学生一人に対して「テキストファイル（名前、提出日時、コメント）」と「学生が提出した添付ファイル」の2種類のファイルがセットとなっています。詳しい操作は、Blackboard@Tamagawa に登録されているコース「2006V-Blackboard @ Tamagawa 教員向け教材掲載・活用例コース」：「[講義]エリア」－「【新機能】課題提出」－「課題使用方法」をご参照ください。動画マニュアルもご覧いただけます。



課題機能の追加方法

編集後記

2006年度 Blackboard@Tamagawa は進化しました。今までのラーニング機能にとどまらず、大学教育全般を支えるポータル機能の活用がはじまりました。先生がたには掲示（お知らせ）、学生には呼び出し、掲示、休講情報など、パーソナライズされた情報を提供。春学期のパイロット運用を基に今後、さらに活用を拡大して提供できるよう進めております。

e-Education NewsLetter 2006 Vol.2
2006年7月発行

玉川大学
eエデュケーションセンター メディア教育推進室
東京都町田市玉川学園6-1-1
Tel : 042-739-8820
Fax : 042-739-8825
eメール : bbhelp@tamagawa.ac.jp
URL : http://bb.tamagawa.ac.jp/